

令和6年度 (2024年度)

事業報告書



- 前 文
- ・法人運営
 - ・施設事業運営
 - ・地域との関連
 - ・会計
 - ・添付書類

社会福祉法人 正和会

★前文

きめ細かな保育と家庭的な雰囲気のある保育園、確かな保育理念と熱い情熱を持った保育園という評価が定着し、ひめゆり保育園・てんじん保育園ともに保護者から大変に高い評価を得るとともに、『保育園まるごとランキング』という保育園のランキングサイトにおいても、高い評価を受けるようになっている。

今年度も毎日の保育の中で、常に子ども達の笑顔のために何が出来るかを職員一同で考え知恵を絞りながら保育を行ってきた。

1. 法人運営

(1) 実施事業

当法人は、児童福祉法に基づき子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの最善の幸福のために、保護者や地域社会と力を合わせ児童の福祉を積極的に増進し、併せて地域における全ての子育て家庭に対して育児・子育ての支援を行うため、次の社会福祉事業を行いました。

◆第二種社会福祉事業

1. 保育所 ひめゆり保育園の設置経営
住所 東京都小平市天神町2-6-1
定員等 0歳～2歳児 40名定員
2. 保育所 てんじん保育園の設置経営
住所 東京都小平市天神町2-1 1-2 6
定員等 0歳～5歳児 60名定員

(2) 理事会

令和6年度は3回の理事会を開催した。

- ・5月29日 令和5年事業報告及び決算計算書類の承認、
定時評議員会の開催についての承認
- ・12月12日 令和6年度補正予算の承認
理事長の職務実施状況報告の承認について
- ・3月8日 令和7年度事業計画及び予算の承認、
育児・介護休業規定の改正について
理事長の職務執行状況の報告

2. 施設事業運営

(1) ひめゆり保育園

ア、児童在籍数

年齢	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	3	3	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	65
1歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
2歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
合計	35	40	37	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	449

イ、健康管理

1. 病気欠席状況

うさぎ組(0歳児)：9名(うち4月入園1人、6月入園1人、7月入園1人、8月入園5人、12月入園1人)
あひる組(1歳児)：16名 きりん組(2歳児)：16名 総数：41名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
うさぎ組	0	1	3	7	12	17	8	9	20	15	13	22	127
あひる組	40	46	37	62	13	25	37	5	23	12	9	40	349
きりん組	20	24	27	24	2	6	11	7	18	8	0	9	156

入院件数

月	人数	内容
7月	1人	1歳児あひる組B(左足 細菌性髄膜炎)
9月	2人	0歳児うさぎ組(てんかん発症) 1歳児あひる組B(RSウイルス感染症)
10月	1人	1歳児あひる組A(喘息症状、風邪)
11月	1人	0歳児うさぎ組(てんかん発作の1日回数が多かったことに伴い検査入院)
1月(令和7年)	1人	1歳児あひる組A(下肢のMRI検査入院)

自宅療養の後入院

3月、4月	1人	1歳児あひる組A(IGA血管炎)
-------	----	------------------

2. 健康診断

年間計画に沿って全園児健康診断2回、および1回の新入園児健康診断を実施した。

0歳児は毎月1回健康診断を実施した。基本的に第3金曜日が実施日となっている。

0歳児の保護者には、体調不良時以外は受けていただくよう事前に促し、お伝えした。

3. 歯科検診

6月、12月と年2回実施した。

検診の結果 うさぎ組：0歳児 あひる組：1歳児 きりん組：2歳児

- ・0～2歳児のむし歯保有者はいなかった。
- ・口腔清掃状況も「普通」だった。今後も引き続き毎日の園での仕上げ磨きと家庭でのケアを継続して行い口腔内の清潔が保てるように努める。
- ・0歳児：特記事項なし。

- ・1歳児：特記事項なし。
- ・2歳児：CO(要観察歯)の指摘あった園児がいたが虫歯ではなく歯が凹んでいるとのこと。

4. 腸内細菌検査

4月・10月の年2回全職員（パート、保育助手を含む）を対象に行った。

また、調理や調乳に携わる職員（0歳児担任、フリー保育士、調理室、園長、主任、看護師）については毎月検査を行った。特定の職員以外でも調乳できるよう2024年11月より、正規職員は全員が細菌検査を実施することとなった。結果は年間を通して全職員陰性であった。

5. 職員健診

9～12月第1週の4ヶ月間で「立川北口健診館」にて、全常勤職員対象に行なった。

19名のうち、法定健診対象者13名、一般健診対象者6名であった。

雇入時健診も入職者全員に対して行った。

6. ほけんだより

年間で16回のほけんだよりを発行した。

7. 保健指導

4月：うさぎ・あひる・きりん組クラス懇談会にて「健康とからだのはなし」

昨年度実施していない職員に向けて手洗いチェッカーを用いた手洗い指導をした。

5月：職員会議で、常勤職員に向けて「東京都教育・保育施設等における重大事故の再発防止のための事後的検証委員会報告書～認可外保育施設で給食中に発生した誤嚥による死亡事故について/令和6年5月21日 東京都教育・保育施設等における重大事故の再発防止のための事後的検証委員会」資料の読み合わせを行い、職員同士意見交換した。看護師不在だったため、園長から事故防止の重要性和事故が起こるとどうなるのかについて職員に説明があった。

6月：歯科検診前に、歯科検診のデモンストレーションとエプロンシアターまあちゃんと歯磨きを実施した。

7月：手足口病集団発生に伴い、多摩小平保健所と小平市役所保育課に報告をした。保健所からの指導により、オムツ交換後毎回の手洗い周知と排便ケア後は次亜塩素酸ナトリウム水での環境消毒の指導を行った。

8月：5月に実施した「認可保育施設で給食中に発生した誤嚥による死亡事故について」資料読み合わせ後の保育士の意識的变化や不安なことなどの聞き取り調査を実施した。その後会議で共有し、職員同士の理解を深め改善できるところを改善するよう意見交換した。

9月：会議にて、てんかんの病態・園での対応について資料を配布し、職員へ説明した。

きりん組のおかわりのりんごの大きさを1口サイズではなく、1/8切りにするよう変更した。

11月：あひる・きりん組にてまあちゃんのエプロンシアターを使用し、手洗いの意味について説明後、手洗いデモンストレーション「おててをきれいにあらいましょう」（「あめふりくまのこ」のメロディに乗せて）後、順番に泡状せっけんを用いて水道で手洗いを実施した。おててポン（手洗いスタンプ）を使用し、楽しく園児が手洗いできるよう指導した。

12月：歯科検診開始前に、あひる・きりん組園児合同で「あー」「いー」と開口する練習をした。泣いている子どももいたが、練習できた子どもは自信を持って歯科検診に臨んでいた。歯科検診当日だと時間に余裕が無いため、次回からは前日までに余裕を持ってデモンストレーションを行う方が良いと反省した。

1月：Jモバイルにて感染症のお知らせを保護者・職員に向けて配信開始した。玄関入口前と感染症発生クラス前にも掲示している。

8. ひめゆり広場事業での保健活動

今年度は実施無し

9. 内服薬と薬状況

ア) うさぎ組：

- ・0歳男児 アトピー性皮膚炎。食前・食後にアズノール軟膏を口周りに塗布するよう指示あり。

イ) あひる組：

- ・無し

ウ) きりん組：

- ・無し

投薬件数は、昨年の 0 件から 1 件に増えた。預かり薬について、平成 29 年度より、医師の指示書のあ
る薬に限りお預かりして投薬することとしている。今年度は保護者からの投薬依頼の相談が複数件あ
ったが、家庭での投薬が基本であることを伝え、園での投薬がどうしても必要であるかの確認を強化をし
た。その結果、昨年度からの引き続き 1 件のみの投薬となった。

10. 怪我等への対応

擦り傷、切り傷、打撲、鼻出血等、軽症のものは日常的にあったが、それぞれ、洗浄、止血、ワセリン
塗布、冷却等の対応を行った。

【受診件数】

4 組 4 件

【受診内訳】

＜うさぎ組＞

なし

＜あひる組＞

2024年5月10日	歯冠破折、下口唇外傷	診察	歯科
2024年11月27日	外耳道異物(砂)	診察、砂・耳垢除去	耳鼻咽喉科
2025年2月3日	左上眼瞼外傷、打撲	診察、顔面CT検査	形成外科

＜きりん組＞

2024年12月16日	頭部外傷(皮下血腫)	診察	脳神経外科
-------------	------------	----	-------

11. 食物アレルギー・宗教対応

うさぎ組：・女兒 乳製品・小麦・卵(令和6年4月～)

令和6年4月の慣らし保育中、粉ミルク「はいはい」摂取後に口周りや腕に発赤・蕁麻疹
が出現した。ミルク摂取時に母親が付き添っていた為、降園後受診してもらった。

⇒医師指示にて保育園では粉ミルク「はいはい」除去、大豆粉ミルク「ボンラクト」で対
応した。肌の状態が良くなったら、家庭にて乳製品・小麦・卵を少しずつ試していくよう
に医師の指示あり。症状があった場合は公立昭和病院受診対応で良いと母親から承諾を得
ている。令和7年3月現在、牛乳と小麦は家庭でも摂取していないとのこと。

- ・男児(双生児兄) 二次性乳糖不耐症：令和6年12月2日～1月9日の期間、粉ミルク
「はいはい」除去、乳糖不耐症用粉ミルク「ノンラクト」で対応した。
- ・女児(双生児妹) 二次性乳糖不耐症：令和6年12月2日～1月4日の期間、粉ミルク
「はいはい」除去、乳糖不耐症用粉ミルク「ノンラクト」で対応した。

きりん組：・男児 牛乳・乳製品(令和4年5月～)

令和4年4月ミルク摂取後下顎中心に発赤・発疹(蕁麻疹様)あり。

⇒医師指示にて保育園ではミルク除去。家庭にて1歳過ぎ頃から小麦・乳製品試してい
る。症状があった場合は公立昭和病院受診指示あり。

- ・女児 非加熱の牛乳(令和5年4月～乳糖不耐症)
- ・女児 牛乳・ビーフエキス(令和5年4月～宗教対応)

12. 巡回相談

保育の中で、発達等に気になる児がいた際、5月と翌年1月に、シーズプレイスより専門家が派遣され、
午前中該当児の様子を見ていただき、対応についてカンファレンスをおこなった。

13. その他

- ・ヒヤリハット様式変更
- ・令和7年より、全国で起きた給食で提供されたりんごによる窒息事故の注意喚起受け、園長、主任、
栄養士、看護師で協議し、りんご・梨・柿を園で提供することを中止した。

- ・令和7年3月、AEDの電極パッドの使用期限が切れていたため園長に報告した。園長が管理会社と連絡を取り、新しいパッドに交換することになった。

ウ、栄養管理

栄養士が積極的に栄養指導を行うとともに、子どもたちの健康状態を把握しながらバランスの良い献立作成に取り組み、献立を元に給食を提供することが出来た。

献立には季節を感じられるよう、旬の食材を多く取り入れた。

食育の一環として、栄養素・食材の効能等をレシピ・おたより等を保護者対象に配布し、興味関心を持ってもらえるよう務めた。

日本の行事食・伝統食についても同様に、掲示や給食だより等で保護者へお伝えした。

小平市内にある直売所マップを活用し、ご家庭に於いても旬の食材に触れる機会を増やせる様に情報提供を行った。

離乳食

離乳食全般については、子どもひとりひとりの発達・喫食状況に合わせ、細かい対応を行った。期が上がる際にはコロナ禍の中、出来る範囲で保護者・担任・栄養士で離乳食面談を実施し、家庭・クラスと連携を図りながら、固さ・大きさ等調理形態に十分留意し食事を提供することが出来た。

乳児食

アレルギーによる除去食の希望が1名あった。（牛乳・小麦粉）

年間を通して、トレーを使用する等、個別に対応を行った。

献立表に除去（または代替）内容を記載して保護者に配布し、同時に職員間でも情報の共有に努め、安全に食事提供を行った。持参のお弁当の受け取り、保管、提供方法のマニュアルを作成し、職員間での情報を共有した。

献立表に除去（または代替）内容を記載して保護者に配布し、同時に職員間でも情報の共有に努めた。食事の提供の際には、正職員と栄養士又は、調理師が献立表を見ながら除去となる食品の確認をしながら安全に受け渡しを行った。

*災害備蓄の入れ替え等により、配布がある場合は原材料の掲示、伝達を徹底し対応した。

エ、保育内容

保育支援総合システム『はぐくむ保育』の活用により、年間指導計画→月間指導計画→日週案指導計画と連動した保育の実践が可能となるとともに、保育日誌・保健日誌・施設日誌・児童票・事故報告書等が連動する事で、保育事務の合理化・簡素化が可能となった。

カリキュラム会議は全職員が参加できるよう実施し、一人ひとりの発達・成長を共有し共通理解の下に保育を行なうことが出来た。

オ、安全管理

正面玄関のクローザー機能が稼働しない事から取り換え工事を行った。また、コンビカーやソリ等の遊具については、破損の具合によって新しいものと交換し対応した。

カ、職員の処遇

(1)健康管理

腸内細菌検査、健康診断、胸部レントゲン撮影など、すべて計画通りに実施し、全ての職員が立川北口健診館で定期検診を受診した。

(2)職員会議

各月職員会議を1回とカリキュラム会議を1回の合計24回の全体会議を実施した。

ほかにクラス単位のミーティング・リーダー会議を数回、カリキュラム打ち合わせ会を多数実施した。

(3) 研 修 報 告

別紙『研修会参加一覧表』にあるように東社協、東京民保協などの保育団体が主催する研修を中心に多数の研修会に参加した。受講者は職員会議等を利用し研修報告をし、職員会議等で情報共有した。

また、新たに採用された職員も順次『上級救命講習』と『おもちゃインストラクター』を受講し、資格取得に努めた。

(4) 福 利 厚 生

本年も福利厚生センターに加入して、個職員が個々でセンターの事業を活用した。

(5) 地域社会との関連

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、子育てひろば『わくわくひめゆり』見合わせた。園庭開放については、5月から39回実施した。

ア、保育実習生の受け入れ

今年度はひめゆり保育園において、保育養成校からの保育園実習生計8名受入れを行なった。

イ、中学・高校生の職場体験・職業体験の受け入れ

今年度は例年職業体験を受け入れている小平市立小平第六中学校、小平第三中学校、保谷中学校から職業体験授業を受け入れた。

(2) てんじん保育園

ア、児童在籍数

年 齢	定 員	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
0 歳	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
1 歳	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
2 歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
3 歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
4 歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
5 歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
合 計	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	720

1・健康診断

毎月第2もしくは第3火曜日を健診日とした。

乳児健診は毎月行い、体調不良以外で休んだ場合は、保護者とともに園医を受診して頂き、個別に健診を行って頂いた。

いるか組、くじら組は、年2回健診を行った。

2・歯科検診

6月・12月と2回実施した。

未処置むし歯のある児が6月は5歳児1名、12月は3歳児1名だった。検診後に、歯科受診を促し、早期治療が行えた。

3・視力測定

9月（5歳児）・11月（4歳児）・1月（3歳児）に測定を実施した。
気になる様子があった児は状態を保護者に伝え、眼科受診を勧めた。

4・腸内細菌検査

4月・10月の年2回全職員（パート、保育補助を含む）を対象に行った。
また、調理や調乳に携わる職員（0歳児担任、フリー、調理室、主任、看護師）については毎月検査を行った。結果は年間を通して「陰性」であった。
11月に調理職員4名はノロウイルスの検査を行い、結果は「陰性」であった。

5・職員健診

健康診断を9～12月に「立川北口健診館」「総合健診センターヘルチェック」にて行なった。
希望者には、がん検診なども受けられるように設定したことで、各職員が自分の健康に関心をもてたのではないと思う。
入職した職員については、雇入れ時の健診を行った。

6・保健だより

毎月保健だよりを発行した。

7・保健指導

6月 プライベートゾーン・歯磨き指導（くじら組）ぶくぶくうがい（3歳児）
11月 手洗い指導（いるか組）うがいの違い（3歳児）うがい・手洗い指導（くじら組）
食べたものはどうなるの？排便の後始末（4歳児）
12月 歯磨き指導（くじら組）
1月 咳エチケット（くじら組）
3月 うんちの話（3歳児）就学にむけて（5歳児）

8・内服薬と薬状況

熱性けいれんのため、ダイアアップ座薬の預かり：1名（4歳児）

9・巡回相談

6月・7月・11月・1月に、株式会社シーズプレイス（小平巡回相談事業委託事業者）の先生に来て頂き、気になる行動のある児の対応について話し合いを行い、アドバイスを頂いた。

10・怪我、通院について

＜怪我・通院：5件＞

- ・6月（3歳児）：ラミネートのメニュー表が左目にあたり充血あり。白矢眼科を受診し、角膜は異常なし。点眼薬を処方され、経過観察となる。
- ・8月（0歳児）：カスタネットの木片を誤飲する。遠藤こどもクリニックを受診し、経過観察となる。翌日の夜に便に木片が排出したのを保護者が確認する。
- ・12月（2歳児）：じゃぶじゃぶ公園の象の滑り台に左耳をぶつけ、左耳介に裂傷あり。一橋病院の形成外科、脳神経外科を受診する。傷にはゲンタマイシン軟膏を塗布し経過観察となる。頭部のレントゲンは異常なし。
- ・12月（5歳児）公園で他児とぶつかり、左上前歯の動揺あり。鈴木歯科を受診し、永久歯への生え代わりの動揺であると診断され、経過観察となる。
- ・2月（3歳児）：じゃぶじゃぶ広場で、右手人差し指をガラス片で切る。山之内整形外科を受診し、傷口に感染兆候みられず、経過観察となる。

11・感染症の流行について

- ・7月、11月：手足口病
- ・12月：咳、鼻汁がでて、中耳炎になる児が多かった

・12月～1月：インフルエンザA

手足口病の流行が見られたが、それ以外の感染症の流行はほとんどなく、元気に過ごすことができた

ウ、栄養管理・栄養指導

給食の時間に栄養士がクラスを巡回し、食材の話や味付けの話をして、食事に興味を持てるよう働きかけた。
また、個別に食具の持ち方、食べる姿勢などの指導を行った。

1・食育について

毎月実施 くじら組 ・調理保育おにぎり作り ・箸指導 いるか組 スプーン指導
毎日実施 くじら組 当番が食育ボードを用い、三つの働き(色)に食材を色分けする

	クラス	内容	ねらい
4月	いるか・くじら	食事の時の約束	一口大にかじり取る。口の中を空にしてから、次の食べ物を入れる。
	くじら	味噌作り	大豆が様々な食べ物に変化していくことを知る。
5月	いるか・くじら	そら豆のさや剥き	五感で楽しみ、食材に興味を持つ。
6月	いるか・くじら	小平夏野菜カレー	地場野菜に興味を持ち、1日に食べる野菜の量を手ばかりで体感する。
	いるか・くじら	じゃが芋洗い	五感で楽しみ、食材に興味を持つ。
7月	いるか・くじら	とうもろこし皮むき	五感で楽しみ、食材に興味を持つ。
	くじら	クラス炊飯	米と水を加熱するとご飯になる事を知る。作ってくれている人への感謝。
9月	くじら	防災食を知ろう	保育園の備蓄品について知る。防災食の味に慣れる。
	いるか・くじら	さつま芋洗い	五感で楽しみ、食材に興味を持つ。
11月	くじら	だしを味わう	出汁の美味しさ、「うま味」を味わう。味覚を敏感にして薄味に慣れる。
	いるか	クラス炊飯	米と水を加熱するとご飯になる事を知る。作ってくれている人への興味。
	いるか	食べ物の働き	食べることの大切さを感じる。
	いるか	ラップおにぎり	おやつのおにぎりを自分で握ることで、食事作りに興味を持つ。
12月	くじら	鏡餅作り	神様にお供えする鏡餅を作り、食への感謝の気持ちを知る
3月	くじら 5歳児	リクエスト給食	今までの給食を思い起こしメニューを考える。調理室の仕事を知る。

2・アレルギー対応について

卵アレルギーの児童2名 給食対応を決定する面談を個別に行った。

3・離乳食について

栄養士、クラス担任が保護者と連携し、発達の度合いを確認しながら丁寧に進めた。

4・個別対応について

乳糖不耐症の児童1名 個別トレーを使用。おやつ飲用牛乳を除去した。

脳性麻痺、嚥下障害ありの児童1名 ハンドブレンダーでペースト状にし、とろみを調整した食事を提供した。

5・行事食について

保育園の行事や旬に合わせた行事食を提供した。

また、雰囲気作りのため行事に合わせたランチョンマットを作り、おやつ時間に使用した。

4月 たけのこご飯

5月 そら豆

6月 地場野菜を使用した「小平夏野菜カレー」 ・じゃがバター

7月 セタ ・とうもろこし ・小平産ブルーベリーを使った誕生日ケーキ

9月 中秋の名月 お月見団子 ・秋の彼岸 おはぎ ・防災の日 アルファ化米

10月 目の日(10/10) 小平ブルーベリーヨーグルト

11月 冬至 「ん」のつく食べ物 かぼちゃ あずき

12月 クリスマス会 バイキング給食 ・餅つき 三種のもちと手作りみその豚汁

1月 正月料理 紅白なます 黒豆の甘煮 ・七草がゆ
 2月 節分
 3月 ひなまつり ・お散歩給食 てんじんサンド ・春の彼岸 ぼたもち
 毎月 誕生日会 赤飯や鶏の唐揚げの誕生日メニュー 手作りケーキ

6・今年度の取り組みと結果

・三色食品群 食育ボード

くじら組の当番が栄養士と一緒に、給食食材を体内での働きで色分けし、玄関に掲示した。

食事について話題にする児童が増え、調理職員との貴重なふれあいの場となった。

- ・東社協保育部会 給食研究会 「保育園の食事食事提供における個別対応の事例集」への寄稿。
 脳性麻痺の児童に対する食事対応の内容を給食研究会に情報提供した。

・5歳児リクエスト給食について

R5年度までは、主食・主菜などの項目別に児童の好きなメニューを担当が集計。人気が高かった物を組み合わせ合わせて献立を立てていた。R6 年度は人気のメニューから、栄養士と5歳児が話し合い栄養バランスを考えた献立にした。また、5歳児の描いた絵を取り入れたランチョンマットを作り、当日使用した。

各クラス栄養士・調理士が栄養指導、食具の使い方、マナーの指導を行う。給食時にはクラスを巡回し日々個々に栄養・食具の使い方・マナーを伝える。

離乳食についても細やかな対応を行う、食事段階ごとに面談を行い子ども1人1人に合わせた栄養指導を行った。月齢が低い乳児1名はミルクのみからの対応。

卵アレルギー児童1名、飲用牛乳除去児1名(乳糖不耐症の診断書あり)は、給食の個別対応、食事対応の面談を行う。

- ・食育について以下の通りに行った。

毎月行うもの くじら組調理保育おにぎり作り、箸指導

	対象クラス	内容	ねらい
4月	くじら	三色食品群の話	食品の栄養(三食食品群)を知り、食選力へつなげる 食材に興味を持たせる
	いるか	三色食品群の話・食事のお約束の話	食品の栄養にふれ、食に興味を持たせる 大型絵本を使用し食事のマナーを知る
	くじら	味噌作り	大豆が様々な食べ物に変化していくことを知る
	くじら	配膳と黒米、白米について	配膳の仕方、マナーを知り日々活用していく 白米の構造と黒米のついて知る
5月	いるか・くじら	種まき(枝豆)	大豆の変化を知る (大豆から枝豆)
	いるか	そら豆のさや剥き	実際にさやをむき、五感から楽しみ食材に興味を持つ
	くじら	食事・箸のマナー	配膳の仕方、箸の使い方の基本を知る
	全園児・職員	防災食を食べよう	園の備蓄防災食を給食で食べ、防災食の作り方や味を知る
	くじら	おにぎりを握ろう	自分のおやつのおにぎりを握り、お家でのお手伝いや箸を持つときに必要な手先の器用さにつなげる 毎月行う
6月	くじら	箸指導	箸を正しく持てるように練習する これより月に2回練習を入れていく
	いるか・くじら	小平夏野菜カレー・野菜の栄養について	地場産の野菜を使用し、その野菜について知る
	いるか・くじら	じゃが芋洗い(行事)	食べ物の生え方を見る 掘ってきたじゃが芋を洗い、芋の表面の様子を知る
7月	くじら	とうもろこし皮むき	旬の食材を知り、食材の形状を知る
	いるか	スプーン指導	スプーンの正しい持ち方を知り、持てるようになる
9月	全園児職員	防災食を食べる(ビスコ)	防災食の味に慣れる 防災食とは何か、普段の食事とはどのような違いがあるかを知る
	全園児	だしについて	日本古来のだし文化に触れ、出汁の種類、味の種類を知り 年明けの豚汁(手作り味噌)の出汁を子どもたちと決める

	全園児	さつま芋洗い(行事)	食べ物の生え方を見る 掘ってきたさつま芋を洗い、芋の表面の様子を知る
10月	いるか・くじら	大豆からもやし作り	枝豆に続き大豆の変化を知る。
	全園児	まごはやさしい味噌汁	頭文字のまめ・ごま・わかめ・やさい・魚・しいたけ・芋を使用した 栄養バランス良いメニューの紹介
	全園児	小平産ブルーベリー	地場産の食材を使用、目の日にちなみブルーベリー
11月	くじら	新米	クラスにて新米を炊き、香りや美味しさを知る
12月	くじら	鏡餅作り	神様にお供えする鏡餅を作り、食への感謝の気持ちを知る
	いるか・くじら	おせち料理の由来を知る	媒体のおせちより、日本古来の行事食を知り、料理に込められた意味を理解する
1月	いるか・くじら	観察(七草)	七草がゆに入っている七草を知り、食材の形状も知る (セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ)
3月	くじら・ランドセル	お散歩給食	卒園児は友達との最後の交流を深める 新くじら組で外での給食を楽しむ
	くじら	卒園児リクエストメニュー	今までの給食を思い起こしメニューを考える

・行事食 保育園の行事や日本の伝統行事・旬に合わせて、行事食を提供した。

4月:たけのこご飯

5月:そら豆

6月:小平夏野菜カレー、目の日(小平産ブルーベリー使用)

7月:七夕 土用の丑の日

9月:お彼岸(おはぎ)・お月見団子

11月:冬至(かぼちゃ) ハロウィーン

12月:クリスマス、餅つき

1月:お正月料理各種

2月:節分

3月:ひな祭り、お楽しみメニュー、お散歩給食、お彼岸(ぼたもち)

・毎月 誕生日メニューと手作りケーキ

エ、保 育 内 容

保育支援総合システム『はぐくむ保育』の活用により、年間指導計画→月間指導計画→日週案指導計画と連動した保育の実践が可能となるとともに、保育日誌・保健日誌・施設日誌・児童票・事故報告書等が連動する事で、保育事務の合理化・簡素化が可能となった。

オ、安 全 管 理

めだか組の柱に園児が頭をぶつけてケガする事故があったので、防護ゴムを取り付けた。

キ、職 員 の 処 遇

(1) 健 康 管 理

腸内細菌検査、寄生虫検査、健康診断、胸部レントゲン撮影など、すべて計画通りに実施し、35歳以上は立川北口健診館において生活習慣病検診を受診、それ以外の職員も立川北口健診館で定期検診を受診した。

(2) 職 員 会 議

各月職員会議を1回とカリキュラム会議を1回の合計24回の全体会議を実施したほかにクラス単位のミーティングを数回、カリキュラム打ち合わせ会を多数実施した

(3) 研 修 報 告

新たに採用された職員は『上級救命講習』を受講すると共に、調理職員1名が新たに『離乳食インストラクター2級』の資格講習を受講し認定を得た。

また、3年以上の経験を積んだ職員にはキャリアアップ研修を積極的に受講するよう薦めたので、該当者は全員受講を完了した。

(4) 福 利 厚 生

本年も福利厚生センターに加入して、個々の職員がセンターの事業を活用した。

3 , 会 計

橋詰会計事務所による会計指導のもと、公正・透明な会計業務を心掛けた。
別紙決算書の通りである。

4 , 添 付 書 類

資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録、